

鹿児島大学高隈演習林における固定試験地定期測定資料 (I)
—固定試験地の概要—

吉田 茂二郎・今永 正明・馬田 英隆*
(森林資源学講座, *高隈演習林)

Periodic Inventory Data of Permanent Plots in
Kagoshima University Forests at Takakuma (I)
—Abstracts of Permanent Plots—

Shigejiro YOSHIDA, Masaaki IMANAGA and Hidetaka UMATA*
(Laboratory of Forest Resources, *University Forest)

はじめに

鹿児島大学農学部附属高隈演習林（以下、高隈演習林と記す）には、筆者らによって設定されたものを中心に固定試験地があり、それらの定期的な測定が行われている。したがって、今後はこれらの資料をできるだけ公表する予定であり、今回はその第一回目として現存する試験地の概要を明らかにする。

高隈演習林の概要

高隈演習林の所在地、面積および諸情報を表-1および図-1に示す。

試験地の概要

高隈演習林内に設定されている、試験地の場所および内容等を図-1と表-2に示す。

表-1 高隈演習林の概要

正式名称	鹿児島大学農学部附属高隈演習林
所在地	鹿児島県垂水市海潟3,237
面積	3076.75ha
年平均気温	14~15℃
年降水量	1,500~3,100mm
林種	人工林 1,512ha 天然林 1,496ha
植物帯区分	暖帯南部（照葉高木林）
主要樹種	上層 イタジイ, イスノキ, アカガシ, ウラジログシ, タブノキ, マテバシイ 中層 サカキ, シキミ, イスノキ, サザンカ, ヤブツバキ

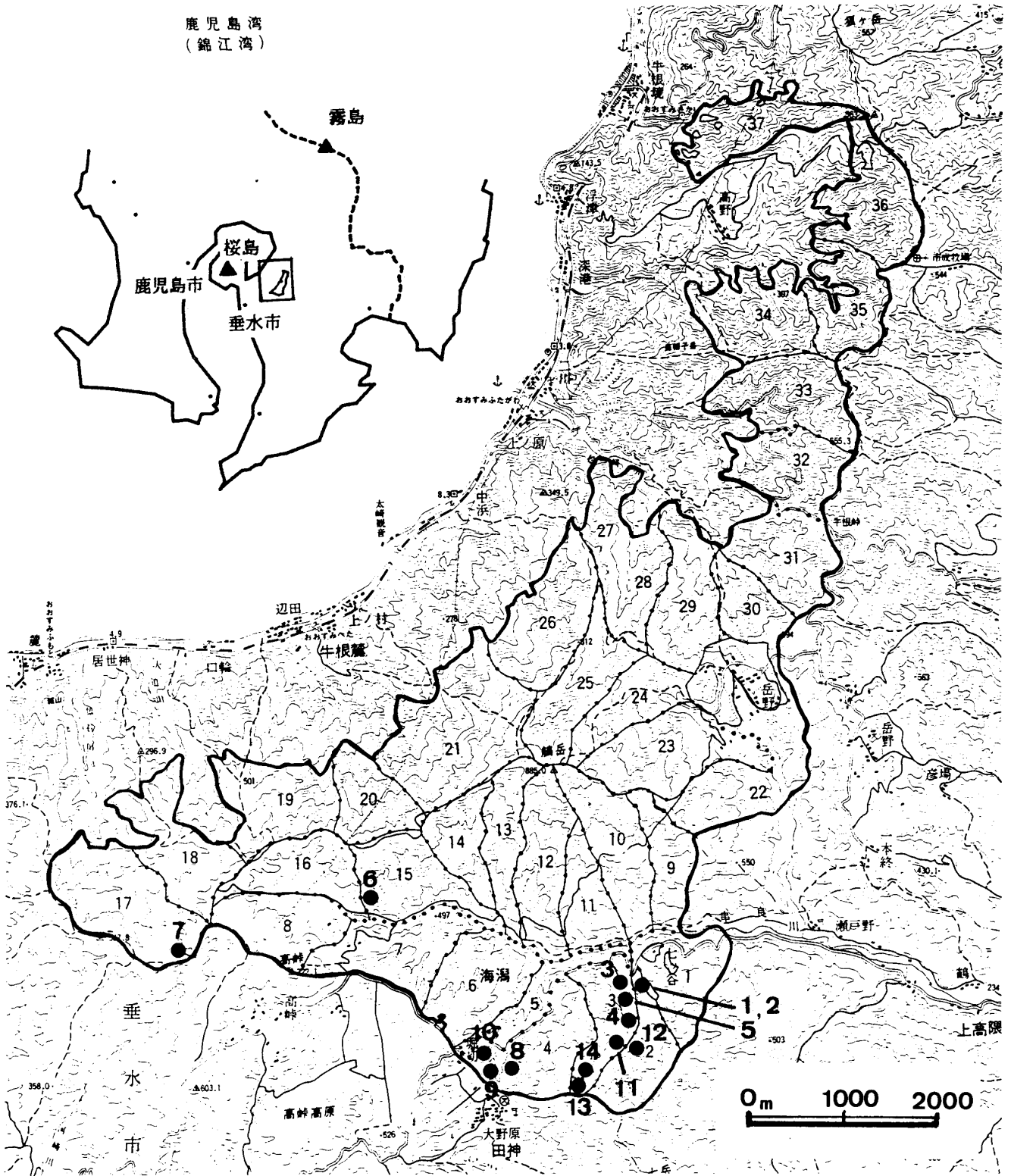


図-1 高隈演習林の位置および固定試験地の設定場所

表-2 固定試験地の内容

番号	試験地番号	樹種	面積 (ha)	測定年(林齢)	測定項目	備考(目的等)
1	0102000	スギ	1.76	1979.08(55) 1984.08(60) 1989.10(65)	d*, h* ² (一部) d	ヤクスギ成長量試験地
2	0102001	スギ	0.16	1979.08(55) 1984.08(60) 1989.10(65)	d, h d, h d, h, 樹冠	0102000の中心部に設定
3	0203001 ~4	ヒノキ	0.09	1979.08(62) 1985.09(68) 1991.09(74)	d, h d, h d, h	間伐試験地
4	0103001	スギ	0.09	1980.08(20) 1984.07(24) 1990.07(30)	d, h, 樹冠 d, h, 樹冠 d, h, 樹冠	樹冠動態試験地, メアサスギ
5	0103002	スギ	0.09	1980.08(20) 1984.07(24) 1990.07(30)	d, h, 樹冠 d, h, 樹冠 d, h, 樹冠	樹冠動態試験地, ヤナセスギ
6	0115001	スギ	0.09	1980.08(64) 1989.03(73) 1991.03(75)	d, h d, h, 樹冠 d, h, 樹冠	ヤクスギ成長量試験地
7	0117001	スギ	2.84	1981.08(55) 1991.07(65)	d, h, 位置図 d, h	ヤクスギ成長量試験地, 地形測量
8	0104001	スギ	0.25	1984.06(55) 1987.09(58) 1990.09(61)	d, h d, h d, h, 樹冠	成長量試験地
9	0104002	スギ	0.25	1988.09(59)	d, h, 樹冠	成長量試験地
10	0104003	スギ	0.15	1989.10(60)	d, h, 樹冠	成長量試験地
11	0103003	スギ	0.09	1985.09(25) 1990.07(30)	d, h, 樹冠 d, h, 樹冠	樹冠動態試験地, メアサスギ
12	0102002	スギ	0.09	1985.09(24) 1990.07(29)	d, h, 樹冠 d, h, 樹冠	樹冠動態試験地, メアサスギ
13	0303001 ~2	広葉樹	0.09	1982.08(105) 1987.10(110)	d, h d, h	学術参考保護林
14	0303003 ~5	広葉樹	0.09	1987.12(110)	d, h	学術参考保護林

* 1 : 胸高直径 * 2 : 樹高

おわりに

高隈演習林に現存する固定試験地の測定資料の公開を前提に、その概要を整理した。今後は、定期的に資料の公開を行う予定である。

最後に、試験地の設定および定期的な測定において、高隈演習林の職員の方々、ならびに測定期に森林経理学講座に在籍していた学生諸君の多大な協力を得た。ここに記し、深く感謝する次第で

ある。さらに、膨大な量のデータの入力が必要な資料整理は、森林経理研究室の中島容子嬢の地道な作業によるところが大きく、ここに記して心から感謝します。

これらの資料が、少しでも多くの人たちに利用されることを望む次第であり、希望者にはフロッピーベースでの提供を考えている。